



夢

完成の架け橋

ききな一歩

安八スマートインターチェンジ こどうきょう 跨道橋架設工事

5月16日（火）、名神高速道路の安八スマートインターチェンジ建設現場で、跨道橋の架設工事が行われました。これは安八スマートインターチェンジ入口から名神高速道路の本線をまたいで、下り線への乗り降りルートに繋がる重要な部分となります。

当日は、夜10時からの見学会にも関わらず、なかなか目にする事のない珍しい工事を一目見ようと関係者や地元住民約150人が工事現場を訪れました。

見学者が見守る中、あらかじめ組み立てられた長さ38メートル、重さ253トンの跨道橋は、96本のタイヤを備えた台車2台に支えられ移動を開始。毎分1～2メートルの速度で建設現場の仮置き場から名神高速道路の両脇に設けられた架設部分まで、約150メートルの距離をゆっくりと進んでいきました。

設置場所まで到達した跨道橋は、慎重に位置合わせを行いながら、油圧ジャッキを使用し架設部分に向かって下ろされました。

今後の工事で、安八スマートインターチェンジの入り口から名神高速道路への乗り降りルートが今回設置された跨道橋に接続されます。

安八スマートインターチェンジは平成29年度末の供用開始に向けて、工事を進めてまいります。